

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和2年 6月 8日

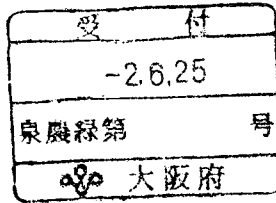
大阪府知事 殿

提出者

住 所 大阪市淀川区西中島4丁目1番1号
日清食品ホールディングスビル5階
氏 名 株式会社ニッキーフーズ
代表取締役 楠本 一人

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-7668-3737



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ニッキーフーズ泉佐野工場
事業場の所在地	大阪府泉佐野市住吉町28番地13
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	売上高：¥2,495,000,000-
③従業員数	172名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	■動植物性残渣 生産ロス→収集運搬→乾燥→堆肥化 ■汚泥 工場排水→排水処理施設→脱水→収集運搬→乾燥→堆肥化j ■廃プラスチック類（包装資材） 商品廃盤・リニューアル→収集運搬→破碎→減容固化→固形燃料化 ■廃プラスチック類（備品・パレット等） 備品破損→収集運搬→破碎→管理型埋立

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙1参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	排出量	274.71 t	1810.875 t
	(これまでに実施した取組) メンテナンス計画にて、メンテナンスを実施しロスの削減。 新設ラインに更新した事で、新商品の開発頻度が増えています。 新設ラインを更新した事で、使用水の量が増加しています。 循環設備を設置し、使用水の有効活用を実施しています。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	排出量	270 t	2750 t
	(今後実施する予定の取組) 生産時間の延長を計画しており、ロス・排水の増加が懸念されるため、メンテナンス計画を充実させ、計画通りのメンテナンス実施。 優良認定処理業者へ、継続委託を実施。 流量計の設置にて、使用水量の管理を実施予定。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物の排出経路が違うため、分別の必要なし。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

廃プラスチック類	蛍光灯		
3.51 t	0.06 t	t	t

②計画

廃プラスチック類	廃乾電池		
3 t	0.1 t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和元年 度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1569.425 t	t
	(これまでに実施した取組) 脱水汚泥機で減量を実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2380 t	t

	<p>(今後実施する予定の取組) 排水処理設備の増強工事を実施予定。</p>
--	--

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和元年 度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	全処理委託量	274.71 t	241.45 t
	優良認定処理業者への処理委託量	274.71 t	241.45 t
	再生利用業者への処理委託量	274.71 t	241.45 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用を行い、優良認定処理業者へ委託を行った。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

廃プラスチック類	蛍光灯		
3.51 t	0.06 t	t	t
2.11 t	0.06 t	t	t
1.4 t	0.06 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	全処理委託量	270 t	370 t
	優良認定処理業者への処理委託量	270 t	370 t
	再生利用業者への処理委託量	270 t	370 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>LED化を継続実施し、蛍光灯の排出を抑制する。 使い捨て電池を充電電池に置き換えを実施する。 優良認定処理業者へ処理委託を行う。</p>			
※事務処理欄			

②計画

廃プラスチック	乾電池		
3 t	0.1 t	t	t
2 t	0.1 t	t	t
1 t	0.1 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

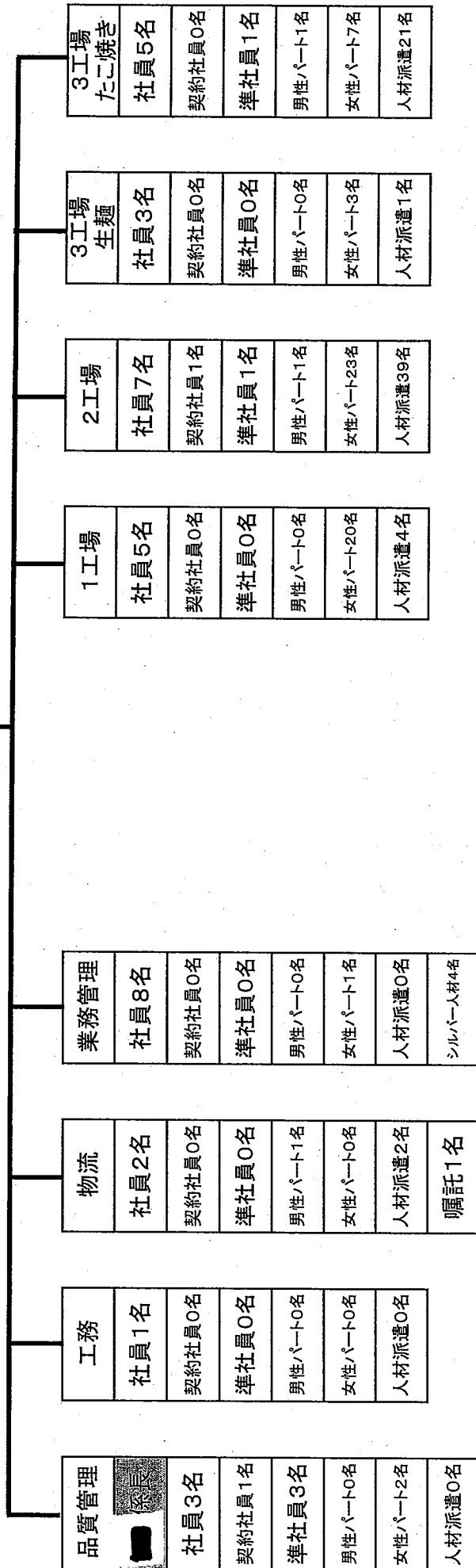
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

本社生産本部長 兼 泉佐野工場 工場長

工場長代理



工場長	産業廃棄物管理責任者
係長	産業廃棄物管理担当者(産業廃棄物保管・排出手続き・マニフェスト管理)